

KYOTO Agri-Business Café NEWS 2025 No.01

アグリビジネスカフェの
参加者を募集しています！



▲京都市内の
農業者の方



▲企業等の方



京都市アグリビジネスカフェとは？

京都市では、新しい農業のカタチを考えるビジネス交流会と題して、農家や民間企業、関係団体、大学、金融機関等の多様な主体が集まるプラットフォーム「KYOTO Agri-Business Café」を創設し、販路開拓、新たな農業関連ビジネスの創出や課題解決に向け、現在約230名の方にご登録いただき、熱心な議論を重ねています。



KYOTO Agri-
Business Café
ホームページ

Topics 1

第13回ビジネス交流会を開催しました！

令和7年12月10日（水）京都リサーチパーク10号館1F GOCONC（ゴコンク）にてKYOTO Agri-Business Café 第13回ビジネス交流会を開催しました。開催内容を写真とともにお伝えします。

当日プログラム

1. 開会
2. アイスブレイク
3. これまでの「KYOTO Agri-Business Café」の振り返り、令和7年度の方針
4. 話題提供+意見交換
 - ・トヨタ自動車株式会社 新規事業推進部 アグリバイオ事業部
現場改善グループ シニアエキスパート 石川新樹氏
5. 令和7年度のプロジェクト紹介
6. その他、会員からの情報提供
7. 交流会
8. 閉会

農家、企業合わせて40名が参加！

当日は「京都市農業における“共創”のはじめかた」をテーマに、トヨタ自動車株式会社さまからの話題提供、今年度を実施するプロジェクト発表を行いました。

様々な業種の方の間で交流が生まれ、実り豊かな会になりました。



協力してくれる農家さんを探しています。

令和7年度の事業紹介



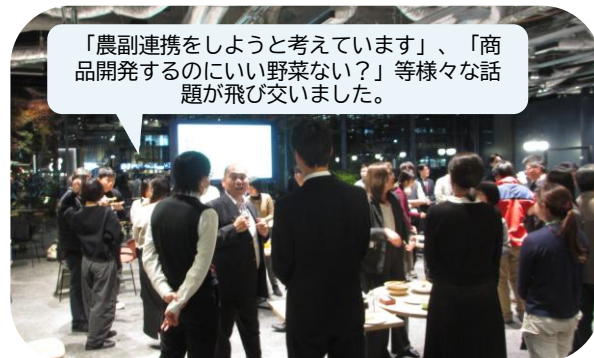
カイゼンの基本は「2S」。整理は、必要なものと不要なものを分けること。整頓は、必要なものをいつでも使えるようにすること。

話題提供：トヨタ生産方式から学ぶ「カイゼン」の基礎



地産地消の取り組みをすすめます！

情報提供



「農副連携をしようと考えています」、「商品開発するのにいい野菜ない？」等様々な話題が飛び交いました。

軽食を交えての交流会

今年度に取り組む2つのプロジェクトについて、それぞれの紹介者から発表しました。

プロジェクト1：AIアプリで広げる京ブランドの農産物

紹介者：株式会社装舎 大田真也氏

1次産業の需要最適化と副業参画を促すための、AIを活用した次世代のデータ駆動型エコシステムを開発しています。

生産計画から収穫・配送・販売までをシームレスでつなぐ便利なツールとなるように、農業者のニーズ把握や機能を高める取組を進めたいと考えています。ヒアリングや、デモ体験など、農業者の方へのご協力をお願いします。



プロジェクト2：KYOTO 食のめぐりプロジェクト

紹介者：資源賛美プロジェクト 本山喜之氏

昨年度取り組んだ「四方よし！小売業のリアルが知れる講座」の中で、農家の方は「販路がほしい」、小売店/飲食店の方からは「どこで何が作られているか知りたい」という意見が出ました。

その意見を受けて、今年度はより身近に作り手と売り手がつなぐコンテンツを計画しました。「京都市内で生まれた農産物を、京都の人たちに“作り手の顔が見れるかたち”で届ける取組」を進めます。



会員からの情報提供

会員が実施している取組について、情報提供がありました。

KYOTO URBAN FARM プロジェクト

情報提供者：株式会社ジャムセッションズ 阪本純子氏

「まちなかで、みんなが集まれる、みんなが耕す。新しいカタチをつくるコミュニティ畑」の取組を進めています。

詳細は、Facebookの「Jam Sessionz」をご確認ください。

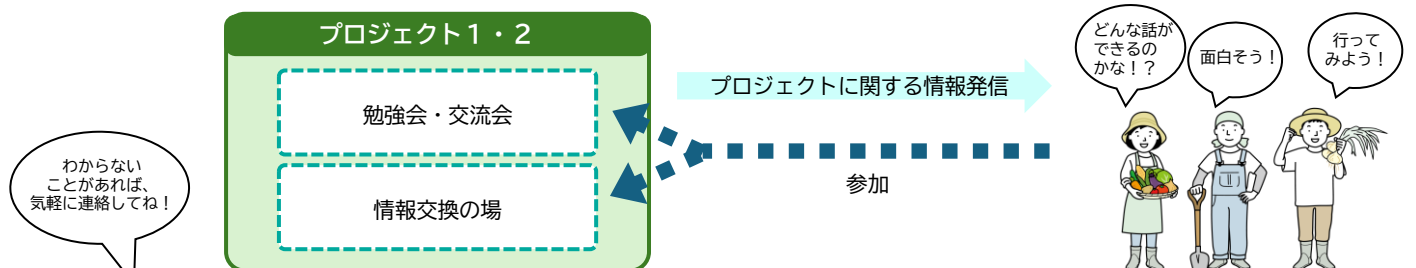
まちなかのコミュニティ畑が叶えられること

コミュニティ畑を通じてさまざまな人のつながりが生まれる



皆さんと一緒にプロジェクトを進めます

各プロジェクトでは、勉強会・交流会、情報交換を行う場の設定やプロジェクトに関する情報を発信します。興味があるプロジェクトがあれば気軽に参加してください。若手農家の力で京都の農業を盛り上げて行きましょう！



【問合せ先】京都市産業観光局農林振興室 TEL:075-222-3351 FAX:075-221-1253

事務局：株式会社地域計画建築研究所（アルパック） E-mail：agricafe-kyoto@arpak.co.jp